



## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 上海	中国の気候は緯度や海からの距離によって大きく異なります。長江の河口付近にある上海は、年降水量が1000mmを超える湿潤な地域に属しており、冬季の気温も北部に比べて温暖で、1月の平均気温が氷点下にならない（0度以上）という特徴があります。これに対し、北京やシエンヤンはより北方に位置するため冬季は氷点下となり、降水量も上海より少なくなります。
問2	<b>答え 1</b> つぼ型	出生率が低下し、子供の数が減少することで、グラフの底辺部分が狭まった形状を「つぼ型」と呼びます。中国では長年の人口抑制策により、かつて人口が多かった世代が生産年齢人口（15～64歳）として残る一方で、年少人口が大幅に少なくなったため、この形状を示しています。これに対し、出生率が高く子供の割合が多い発展途上国の形状は「ピラミッド型」や「富士山型」と呼ばれます。
問3	<b>答え 1</b> 歴史的にコーヒーとの関わりが深いが、共和国時代以降は自国での生産奨励もあり紅茶の消費が拡大し、羊肉やトマトを使ったスープなどが日常的に親しまれている。	トルコは世界的に有名な「トルコ・コーヒー」の文化を持ちますが、20世紀の共和国成立以降、政府が北東部の黒海沿岸での茶の栽培を推進したことで、現在は紅茶（チャイ）が国民的な飲料となっています。また、イスラム教徒が多い背景から豚肉ではなく羊肉（マトンやラム）が主に使われ、トマトなどの野菜と合わせた煮込み料理やスープが特徴的です。
問4	<b>答え 1</b> 二期作	温暖な気候と豊富な降水量を活かし、1年の間に同じ土地で同じ作物を2回育てる方法を二期作といいます。アジアの米作りが盛んな地域、特に中国南部や東南アジアの河川流域などで広く行われています。これに対し、米と麦のように異なる種類の作物を1年のうちに同じ土地で育てることは二毛作と呼ばれ、明確に区別されます。
問5	<b>答え 1</b> 経済特区	中国は、外国からの投資や技術を導入して近代化を図るため、シエンチェン、アモイ、スウトウ、チューハイの4か所（後にハイナン島を追加）を「経済特区」に指定しました。これらの地域は南部の沿海部に位置しており、輸出拠点として急速な工業化を遂げ、「世界の工場」と呼ばれる発展の足がかりとなりました。
問6	<b>答え 1</b> 遊牧	降水量が少なく、家畜の餌となる草が限られている乾燥地域では、一年中同じ場所で家畜を飼うことが困難です。そのため、家畜の群れを連れて広大な範囲を移動し、自然の資源を効率的に利用する「遊牧」が発達しました。アルプス山脈などで見られる、季節によって山の上と下の牧草地を使い分ける「移牧」や、柵の中で放し飼いにする「放牧」とは、移動の規模や目的が異なります。
問7	<b>答え 1</b> 1人あたり国民総所得と原油自給率がともにカナダより低い、一次エネルギー国内供給量は約2.5億tから約8億tへと急増している。	インドは1990年代以降、急速な経済発展を遂げていますが、巨大な人口を抱えるため、国民1人あたり国民総所得（GNI）はカナダなどの先進国に比べるとまだ低い水準にあります。また、国内での石油消費量が多いため原油自給率も低くなっています。一方で、経済成長と産業化に伴い、国全体のエネルギー需要を示す一次エネルギー国内供給量は、1990年から2013年の間に3億tを大きく超える急激な増加を見せています。
問8	<b>答え 1</b> アラビア半島 - 乾燥帯（砂漠気候）	サウジアラビアが位置するアラビア半島は、北緯20度から30度付近の亜熱帯高圧帯の影響を強く受けるため、降水量が極めて少なく、その大部分が砂漠となっています。このため、人々の生活や産業は、オアシスや沿岸部の都市、および石油資源開発地に集中しています。
問9	<b>答え 1</b> 国名：シンガポール、貿易相手国：マレーシア	シンガポールは都市国家であり、東南アジアの主要国の中では人口規模が最も小さい部類に入りますが、中継貿易や金融業、高度な工業化によって非常に高い経済水準を実現しています。その結果、国の経済規模を人口で割った「1人あたりのGDP」は周辺国を圧倒しています。また、地理的に隣接し、歴史的にも深いつながりを持つマレーシアが最大の貿易相手国となっており、ヒトやモノの往来が極めて活発です。

問1 インドは近年、世界有数の国内総生産（GDP）を誇る経済大国となりましたが、1人あたりの国内総生産を計算すると、他の主要経済国に比べて低い数値にとどまっています。このように、国の経済規模は大きいのに、1人あたりの数値が低くなる背景として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 富山公立入試 類似）

1. 分母となる総人口が極めて多いため、国民1人に行き渡る経済的豊かさが統計上小さくなるから
2. 輸出の大部分をコーヒー豆やカカオなどの特定の農産物に依存するモノカルチャー経済だから
3. 国内に石油や鉄鉱石などの天然資源が全く存在せず、すべての原材料を輸入に頼っているから
4. 経済成長が1980年代で止まっており、2000年代以降は国内総生産が減少し続けているから

問2 東南アジアの国々に加え、日本、オーストラリア、アメリカ、カナダ、ロシア、中国、韓国などが含まれる、太平洋を囲む広範囲の国々による経済協力の枠組みを日本語で何というか。（2016年 北海道公立入試 類似）

1. アジア太平洋経済協力会議
2. 東南アジア諸国連合
3. 環太平洋パートナーシップ協定
4. 北米自由貿易協定

問3 東南アジア諸国連合（ASEAN）の一員であるベトナムの経済的な特徴について、各国の経済状況を説明した次の文のうち、ベトナムに該当するもの一つを選びなさい。（2021年 新潟県公立入試 類似）

1. 外国からの直接投資や企業進出を積極的に受け入れることで、工業化を推進している。
2. ペルシア湾岸に位置する資源国であり、原油の輸出が国家財政の大部分を占めている。
3. 欧州連合（EU）に加盟しており、共通通貨の導入によって近隣諸国との経済統合を進めている。
4. アンデス山脈などの広大な高地において、伝統的な放牧を中心とした産業を営んでいる。

問4 2017年の統計において、鉄鉱石の輸入量のシェアが世界全体の68.2%に達し、2位の日本（8.0%）を大きく引き離して世界最大となっている国と、その背景として正しい説明はどれですか。（2021年 京都公立入試 類似）

1. 中国 — 急速な工業化や都市開発にともない、鋼鉄の原料となる資源の需要が爆発的に増加したため。
2. オーストラリア — 自国に鉄鉱石が全く存在しないため、ブラジルなどから大量に輸入して工業製品を製造しているため。
3. 中国 — 資源の輸出量でも世界最大を目指しており、輸入した鉄鉱石をそのまま他国へ転売する中継貿易が盛んなため。
4. 日本 — 高度経済成長長期以降、現在も鉄鉱石の輸入量が中国を上回るペースで増え続けているため。

問5 インドネシアやタイなどの国々が加盟する東南アジア諸国連合（ASEAN）が、その結成や活動において重視している点として、最も適切な説明を選択してください。（2023年 和歌山公立入試 類似）

1. 経済、社会、文化面での協力を促進し、地域の平和と安定を維持すること
2. 加盟国間で共通の通貨を導入し、政治と経済の完全な統合を目指すこと
3. 太平洋を取り囲む国々全体の経済的な結びつきを強め、自由貿易を推進すること
4. 特定の資源の産出量を制限することで、国際市場における取引価格の安定をはかること

問6 中国において1970年代末から2015年まで実施された、急激な人口増加を抑えるための「一人っ子政策」と、その後の社会状況について述べた文として、最も適切なものを選択しなさい。（2020年 山口公立入試 類似）

1. 人口の抑制には成功したが、現在は急速な少子高齢化が進み、将来の労働力不足が課題となっている。
2. 人口抑制の効果がほとんど見られなかったため、現在も都市部に限って継続されている。
3. 経済特区での労働力を確保するために、農村部から都市部への移住を強制的に制限する制度であった。
4. 外国企業の誘致を目的として、都市部の家庭に子どもを一人にするよう義務付けた制度である。

問7 インドネシアなどの熱帯地域で見られる、あぶらやしを生産する「プランテーション」と呼ばれる農業形態の説明として、最も適切なものはどれですか。（2024年 長崎公立入試 類似）

1. かつての植民地支配を背景に、現地の安価な労働力と欧米の資本・技術を用いて、特定の輸出作物を大規模に栽培する農業。
2. 自給自足を目的に、限られた家族労働力を用いて、多種類の穀物や野菜を小規模な農地で栽培する農業。
3. 乾燥した気候に適応するため、地下水路やオアシスの水を利用して、小麦やナツメヤシなどを栽培する農業。
4. 先進国の大都市近郊において、土地を高度に利用し、消費者の需要に合わせて野菜や花などを生産する農業。

問8 中国政府が沿岸部の特定の地域を経済特区に指定し、外国企業に対して税制上の優遇措置を与えた主な目的として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 熊本県公立入試 類似）

1. 外国からの資本や高度な技術を導入することで、自国の工業化と経済発展を促進するため
2. 国内の農村部から都市部への人口移動を厳しく制限し、食料自給率を維持するため
3. 特定の地域において少数民族の伝統的な文化や言語を保護し、高度な自治を認めるため
4. 外国製品に対する関税を高く設定することで、国内の伝統的な地場産業を保護するため

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 分母となる総人口が極めて多いため、国民1人に行き渡る経済的豊かさが統計上小さくなるから	1人あたりの国内総生産（GDP）は、国全体のGDPを総人口で割ることで算出されます。インドは世界最大級の人口を抱えているため、国全体の経済規模がどれほど大きくても、1人あたりの数値は低く算出される傾向にあります。これは、急速な近代化が進む一方で、農村部を中心に依然として多くの人口が生活しているという、新興国特有の課題を反映しています。モノカルチャー経済の説明はアフリカやラテンアメリカの一部の国に当てはまるものであり、インドの現状とは異なります。
問2	<b>答え 1</b> アジア太平洋経済協力会議	略称をAPECといいます。設問にあるように、東南アジア諸国連合（ASEAN）の加盟国だけでなく、太平洋を挟んだ南北アメリカ大陸の国々やオセアニア、ロシアなども参加する非常に広域的な枠組みであることが最大の特徴です。環太平洋パートナーシップ協定（TPP）は、より高いレベルの自由化を目指す別の経済連携協定です。
問3	<b>答え 1</b> 外国からの直接投資や企業進出を積極的に受け入れることで、工業化を推進している。	ベトナムは、周辺国との経済的な連携を強化するためASEANに加盟し、外国企業の工場を積極的に誘致する政策をとっています。これにより、電気機器や衣類などの輸出が増加し、目覚ましい経済発展を遂げました。他の選択肢にある「ペルシア湾岸の資源国」は中東諸国、「共通通貨の導入」はユーロを採用する欧州諸国、「高地の放牧」は南米のアンデス山脈周辺国（ボリビアやペルーなど）の説明です。
問4	<b>答え 1</b> 中国 — 急速な工業化や都市開発にともない、鋼鉄の原料となる資源の需要が爆発的に増加したため。	21世紀に入り「世界の工場」と呼ばれるほど急速な成長を遂げた中国は、ビルや道路、橋などのインフラ整備や、自動車生産のために膨大な量の鉄鋼を必要としています。そのため、鉄鋼の原料となる鉄鉱石の輸入において世界全体の約7割という圧倒的なシェアを占めるに至りました。かつて輸入量で大きな割合を占めていた日本は、現在は中国に大きく引き離されています。
問5	<b>答え 1</b> 経済、社会、文化面での協力を促進し、地域の平和と安定を維持すること	1967年の結成当時、冷戦下にあった東南アジアにおいて、周辺国が協力して自立した経済発展を遂げ、地域の安定を守ることが急務でした。そのため、経済・社会・文化の各分野での相互協力を基本方針としています。共通通貨（ユーロ）を導入しているのはEU、太平洋を囲む広域協力はAPEC、資源価格の安定はOPECの説明であり、ASEANの目的とは異なります。
問6	<b>答え 1</b> 人口の抑制には成功したが、現在は急速な少子高齢化が進み、将来の労働力不足が課題となっている。	中国では爆発的な人口増加が経済発展の妨げになると考え、1組の夫婦につき子どもを1人までに制限する「一人っ子政策」を長年実施しました。この政策により人口抑制には一定の成果がりましたが、同時に極端な少子高齢化を招く結果となり、2015年に廃止されました。現在は経済を支える労働力の減少が深刻な社会問題となっています。
問7	<b>答え 1</b> かつての植民地支配を背景に、現地の安価な労働力と欧米の資本・技術を用いて、特定の輸出用作物を大規模に栽培する農業。	プランテーションは、16世紀以降の欧米諸国による植民地経営の一環として発達しました。インドネシアではオランダによる支配下でこの体制が整えられ、現在も外貨を獲得するための重要な産業となっています。特定の作物（モノカルチャー）に依存するため、国際価格の変動による経済への影響や、農園拡大に伴う熱帯林の破壊といった課題も抱えています。
問8	<b>答え 1</b> 外国からの資本や高度な技術を導入することで、自国の工業化と経済発展を促進するため	当時の中国は、経済を活性化させるために国外の資金や優れた技術力を取り入れる必要がありました。そのため、沿岸部の都市を窓口として開放し、外国企業が活動しやすい環境（インフラの整備や税制優遇）を整えることで、輸出拡大と国内産業の近代化を目指しました。これは「改革・開放」政策の根幹をなす取り組みです。

問1 インドにおける宗教別の人口構成について、その割合の状況を正しく説明しているものはどれですか。（2021年 兵庫公立入試 類似）

1. 人口の約80パーセントをヒンドゥー教徒が占め、次いで約15パーセントをイスラム教徒が占めている。
2. 仏教の発祥地であるため、現在でも人口の約80パーセントが仏教を信仰している。
3. かつてイギリスの植民地であったため、キリスト教徒が人口の約80パーセントに達している。
4. 歴史的に西アジアとの交流が盛んであったため、イスラム教徒が人口の約80パーセントを占めている。

問2 中国における農業の特色について、北東部から中東部にかけての比較的降水量の少ない地域で、主食の原料として盛んに生産されている農作物を答えなさい。（2022年 和歌山公立入試 類似）

1. 小麦
2. 米
3. 茶
4. 天然ゴム

問3 インドにおいて、ヒンドゥー教徒が「聖なる川」として崇め、身を清めるために沐浴を行うことで知られる、インド北東部を流れる河川の名称を選択してください。（2018年 福岡県公立入試 類似）

1. インダス川
2. ガンジス川
3. メコン川
4. ブラマプトラ川

問4 1980年のインドネシアでは、原油や天然ゴムといった原料・燃料の輸出が中心でしたが、2016年には輸出総額が約15倍に拡大し、機械類が輸出額の約4割を占めるようになるという大きな変化が見られました。このように、産業の中心が農林水産業や資源採掘から製造業へと移り変わる現象を何といいますか。（2019年 山形県公立入試 類似）

1. 工業化
2. 農業の多角化
3. モノカルチャー経済の継続
4. 輸入代替化

問5 農作物の生産量においてアジア諸国が上位を占めている「米」の栽培について、その背景や特徴を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2020年 沖縄公立入試 類似）

1. 単位面積あたりの生産力が高く、人口が多い地域の主食として適している。
2. 夏の降水量が少ない乾燥した地域での大規模な栽培に適している。
3. 生産されたものの大部分が、家畜の飼料として先進国へ輸出される。
4. 生産量の大部分が国際的な貿易に回される、代表的な工芸作物である。

問6 ユーラシア大陸の中央部に位置し、北側をロシア、南側を中国という2つの大国に挟まれた広大な国土を持つ東アジアの国を、次の中から選びなさい。（2016年 愛媛公立入試 類似）

1. モンゴル
2. タイ
3. フィリピン
4. ノルウェー

問7 スリランカの産業構造に関する説明として、歴史的な背景と現代の状況を正しく組み合わせたものはどれですか。（2024年 新潟県公立入試 類似）

1. 植民地時代から続く茶のプランテーション農業に加え、近年は衣類製品の輸出が主要な産業となっている。
2. 広大な国土を活かした小麦の生産が盛んで、近年はIT産業が輸出額の大部分を占めている。
3. ガンジス川下流の肥沃な土地でジュートを生産し、世界最大の衣類輸出拠点へと成長した。
4. インダス川の灌漑を利用した綿花栽培が盛んで、古くから綿織物の輸出を独占している。

問8 インドでは情報通信技術（ICT）産業が急速に発展していますが、その要因の一つとして、数学の教育水準が高いことのほかに、技術者の多くが共通の言語としてある外国語を使いこなせることが挙げられます。かつてイギリスの植民地であった歴史的背景から、ビジネスや教育の場で広く普及しているこの言語は何ですか。（2020年 沖縄公立入試 類似）

1. 英語
2. ヒンディー語
3. フランス語
4. プログラミング言語

問9 中国の米の生産と流通に関する説明として、統計的な背景に基づいた正しい記述を次から選びなさい。（2018年 静岡公立入試 類似）

1. 世界生産量の約3割を占める世界最大の生産国であるが、巨大な国内消費のため輸出量は少ない。
2. 広大な土地があるものの米の自給率は低く、消費量の過半数を東南アジアからの輸入に頼っている。
3. 農業の近代化が遅れているため生産量は世界的に低いが、外貨獲得のために無理な輸出を行っている。
4. 生産された米の多くを輸出に回す「世界の食糧庫」としての役割を担っており、世界最大の輸出国である。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 人口の約80パーセントをヒンドゥー教徒が占め、次いで約15パーセントをイスラム教徒が占めている。	インドの宗教構成は、ヒンドゥー教が約80%と最も多く、次いでイスラム教が約15%となっています。仏教はインドで誕生した宗教ですが、現在のインド国内における信者数の割合は非常にわずかであり、むしろ後から伝播したイスラム教の方が大きな勢力を持っている点が統計上の大きな特徴です。
問2	<b>答え 1</b> 小麦	中国では「南稻北麦」という言葉があるように、降水量の多い南部では米（稲作）が、降水量の少ない北部や中東部では小麦（畑作）の栽培が盛んです。自然環境の条件に合わせて、アジア州の主要な生産地としての役割を果たしています。
問3	<b>答え 2</b> ガンジス川	インド北東部を流れ、ベンガル湾に注ぐ大河です。ヒンドゥー教においてこの川は女神の化身と考えられており、その水で体を洗うことで罪が洗い流されると信じられています。流域のバラナシ（ベナレス）などの都市には、沐浴を行うための「ガート」と呼ばれる階段状の施設が整備されています。
問4	<b>答え 1</b> 工業化	インドネシアでは、かつては特定の天然資源や農産物の輸出に頼るモノカルチャー経済に近い状態にありましたが、近年は製造業が飛躍的に発展しました。輸出の主役が原油やゴムから機械類へと変化したことは、その国で加工・製造を行う能力が高まったことを示しています。
問5	<b>答え 1</b> 単位面積あたりの生産力が高く、人口が多い地域の主食として適している。	米は小麦など他の穀物と比較して、同じ面積の土地から収穫できる量（土地生産性）が多く、多くの人口を養うことができる農作物です。そのため、古くから人口が密集してきたアジアのモンスーン地域において、主食として広く普及しました。また、生産された国の中で消費される割合が高いことも特徴の一つです。
問6	<b>答え 1</b> モンゴル	モンゴルは、東アジアの内陸部に位置する国です。地図上で見ると、広大な面積を持つロシアと中国に上下を囲まれるように位置しており、海に全く面していない「内陸国」としての特徴を持っています。
問7	<b>答え 1</b> 植民地時代から続く茶のプランテーション農業に加え、近年は衣類製品の輸出が主要な産業となっている。	スリランカは、イギリスによる植民地支配の影響で、山岳地帯を中心に輸出用の茶を生産するモノカルチャー経済が形成されました。しかし、独立後は経済の多角化を図り、豊富な労働力を利用した繊維・衣類産業を育成した結果、現在では衣類が茶を上回る主要な輸出項目となっています。他の選択肢にあるIT産業はインド、ジュートや大規模な衣類輸出はバングラデシュ、インダス川の綿花はパキスタンの特徴です。
問8	<b>答え 1</b> 英語	インドはかつてイギリスの植民地であったため、独立後も英語が準公用語として広く使われています。多言語国家であるインドにおいて、英語は異なる言語を話す人々を結ぶ共通語の役割を果たしており、特にアメリカ合衆国などの英語圏の企業と取引を行うICT産業において、意思疎通がスムーズに行えるという大きな利点となっています。
問9	<b>答え 1</b> 世界生産量の約3割を占める世界最大の生産国であるが、巨大な国内消費のため輸出量は少ない。	2011年のデータによれば、中国の米生産量は約2億トンに達し、世界全体の生産量の約30%を占めています。一方で、同年の世界全体の輸出量約3761万トンに対し、中国の輸出量はわずか49万トンです。これは「生産量が多いが、それ以上に国内で食べる人が多いために輸出に回らない」という、人口大国である中国特有の供給構造を示しています。

問1 インドとその周辺の年間降水量を示した統計において、ガンジス川の下流域などは年間降水量が1000mmを超える非常に多い地域として示されています。このように、インドの一部で特定の時期に降水量が急増する理由として正しいものを選びなさい。（2021年 福島県公立入試 類似）

1. 夏に湿った空気を蓄えた季節風が、海から陸に向かって吹くため。
2. 夏に大陸の乾燥した空気を運ぶ季節風が、陸から海に向かって吹くため。
3. 冬に冷たく湿った空気を運ぶ偏西風が、インド洋から吹き込むため。
4. 赤道付近で発生した上昇気流により、一年中季節を問わずスコールが降るため。

問2 原油の産出量が世界の上位4か国に入るほど多い一方で、国内での消費量が産出量の2倍以上に達しており、不足分を補うために4億トンを超える原油を輸入している国があります。このような資源事情を持つ国として、最も適切なものはどれですか。（2016年 福岡県公立入試 類似）

1. アメリカ合衆国
2. サウジアラビア
3. ロシア
4. アラブ首長国連邦

問3 1980年の韓国の総輸出額は約181億ドルでしたが、2018年には6000億ドルを超え、30倍以上に拡大しています。このような経済発展の背景と特徴を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2022年 埼玉県公立入試 類似）

1. 国内市場の規模に限界があったため、海外市場をターゲットとした輸出主導型の経済成長戦略をとった。
2. 1980年代から一貫して輸出額が減少し続けていたため、2010年代に入り急激な円安誘導を行って輸出を回復させた。
3. 1980年時点で既に輸出品の半数以上が機械類であったため、その高い技術力を維持することで輸出額を維持した。
4. 広大な国土で生産される小麦や大豆などの穀物輸出が、総輸出額の飛躍的な増加に最も大きく寄与した。

問4 タイ、インドネシア、シンガポール、フィリピン、マレーシア、ブルネイ、ベトナム、ラオス、ミャンマー、カンボジアの10カ国が加盟している組織の現状について、誤っている説明を選びなさい。（2023年 茨城県公立入試 類似）

1. 東南アジア以外の国である日本や中国、韓国とも協力関係を築いており、首脳会議などの話し合いの場を持っている
2. 資源開発や工業化を背景に急速な経済成長を遂げており、世界の成長センターの一つとして注目されている
3. 域内での関税を原則として撤廃するなど、経済的な結びつきを強める「ASEAN経済共同体」を形成している
4. ヨーロッパ連合（EU）から全ての加盟国が離脱して移籍してきたことで、近年急速に加盟国数が増加した

問5 アジアの大陸東部や南部において、夏にインド洋などの海側から陸地に向かって吹き、その地域に大量の湿気をもたらして雨季を形成する原因となる風を何といいますか。（2023年 熊本県公立入試 類似）

1. 季節風（モンスーン）
2. 貿易風
3. 偏西風
4. シロツク

問6 西アジアから日本へと石油を輸送する航路の概要について、地理的な位置関係を説明したものとして最も適切なものを選択肢から選びなさい。（2023年 福井公立入試 類似）

1. アラビア海からインド洋を通り、東南アジアの狭い海峡を経て、南シナ海から日本列島へと至る航路
2. ペルシャ湾から太平洋を北上し、ベーリング海峡を越えて北極海から日本列島へと至る航路
3. 紅海からスエズ運河を抜け、地中海と大西洋を横断してパナマ運河から日本列島へと至る航路
4. インド洋から喜望峯を回り、大西洋を北上してヨーロッパを經由し、ユーラシア大陸を北側から回る航路

問7 東南アジアのある国では、1990年代末には原油などの資源が輸出の中心でしたが、近年では輸出総額の約4割以上を機械類が占めるようになってきました。このような産業構造の変化をもたらした背景として、日本企業の進出を促した現地の要因を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2026年 福岡公立入試 類似）

1. 日本と比較して1か月あたりの平均賃金が極めて低く、安価で豊富な労働力を活用できたこと。
2. 原油の産出量が急激に増加し、燃料としての輸出だけでなく精製技術による工業化が進んだこと。
3. 日本企業の進出が減少したことで、自国の資本のみによる伝統的な軽工業が急速に発展したこと。
4. 農業の機械化が徹底された結果、米や天然ゴムなどの農作物の輸出割合が以前よりも大幅に高まったこと。

問8 マレーシアが多民族国家として発展してきた歴史的・社会的な背景を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2023年 沖縄公立入試 類似）

1. イギリスによる植民地支配などの歴史の中で、中国やインドなどからの移民が労働力として流入した。
2. 熱帯地域特有の気候を利用して、中国やインドから小麦栽培の技術を持つ人々が移住した。
3. 国民の大部分がキリスト教を信仰しており、その布教活動のために近隣諸国から多くの人が集まった。
4. 偏西風の影響で海洋貿易が盛んになり、ヨーロッパから大規模な移民団が定住した。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 夏に湿った空気を蓄えた季節風が、海から陸に向かって吹くため。	ガンジス川下流域などで降水量が多くなるのは、夏にインド洋などの海側から水分を多く含んだ季節風（モンスーン）が吹き込むことが原因です。この風が陸地で雨を降らせるため、この時期に降水が集中し、年間降水量も多くなります。反対に、冬の季節風は大陸から海へと吹く乾燥した風であるため、雨をもたらすことはほとんどありません。
問2	<b>答え 1</b> アメリカ合衆国	アメリカ合衆国は、技術革新などにより世界最大級の原油産出量を誇りますが、同時に世界最大の経済大国として膨大なエネルギーを消費します。そのため、自国での産出だけでは国内需要をまかないきれず、大量の原油を輸入に頼っているのが現状です。これに対し、サウジアラビアやロシア、アラブ首長国連邦などは、産出量が消費量を大きく上回る「輸出型」の資源国として知られています。
問3	<b>答え 1</b> 国内市場の規模に限界があったため、海外市場をターゲットとした輸出主導型の経済成長戦略をとった。	韓国は日本と同様に資源が乏しく、また自国の市場規模も限られていたことから、原材料を輸入して製品を加工し、それを海外へ売る加工貿易や輸出主導型の経済発展を重視しました。この戦略によって、機械類などの工業製品を世界中に輸出できるようになり、1980年から2018年にかけて総輸出額を劇的に増加させることに成功しました。
問4	<b>答え 4</b> ヨーロッパ連合（EU）から全ての加盟国が離脱して移籍してきたことで、近年急速に加盟国数が増加した	ASEANの加盟国はあくまで東南アジアの国々に限られており、ヨーロッパ連合（EU）から加盟国が移籍してきたという事実はありません。ASEANは日本、中国、韓国と「ASEAN+3」といった枠組みで協力したり、域内での関税撤廃を進めて経済的な一体感を高めたりすることで、世界経済における存在感を高めています。
問5	<b>答え 1</b> 季節風（モンスーン）	アジアの気候に大きな影響を与えるこの風は、夏と冬で吹く方向が逆になるのが特徴です。夏は海から湿った空気を運ぶため、南アジアや東南アジア、東アジアに多量の雨をもたらす、稲作などの農業にも深く関わっています。
問6	<b>答え 1</b> アラビア海からインド洋を通り、東南アジアの狭い海峡を経て、南シナ海から日本列島へと至る航路	日本の石油輸入は、地理的に西側に位置するアラビア半島周辺の国々に大きく依存しています。タンカーは、アラビア海から広大なインド洋を東へ進み、マレー半島付近の狭い海域（マラッカ海峡）を通過して、日本の南側に位置する南シナ海を経由して運ばれます。このルートは日本のエネルギー供給の命綱と言えます。
問7	<b>答え 1</b> 日本と比較して1か月あたりの平均賃金が極めて低く、安価で豊富な労働力を活用できたこと。	東南アジアの国々では、日本の10分の1程度という低い平均賃金を背景に、生産コストを抑えたい日本企業の進出が激増しました。これにより、従来の資源輸出に頼る構造から、機械類などの高度な製造業を中心とした工業化が達成されました。この現象は「世界の工場」としての役割が周辺国へ広がった結果といえます。
問8	<b>答え 1</b> イギリスによる植民地支配などの歴史の中で、中国やインドなどからの移民が労働力として流入した。	19世紀以降、イギリスの植民地時代にスズの採掘や天然ゴムのプランテーション開発のための労働力として、中国やインドから多くの人々がマレー半島に移り住みました。これが、現在のマレー系、中国系、インド系が共生する多民族社会の基盤となりました。なお、マレーシアは熱帯に位置するため小麦栽培には適さず、主な宗教はイスラム教です。

# 中学地理プリント（過去問類似）

## アジア州

名前

得点

/8

問1 本初子午線が通る地域から、赤道の北側に広がる低緯度・中緯度地域までを含み、アフリカ大陸の北東側に位置する地球上で最大の大陸を何といますか。（2026年 岐阜公立入試 類似）

1. ユーラシア大陸                      2. 北アメリカ大陸                      3. 南アメリカ大陸                      4. 南極大陸

問2 西アジア地域の自然環境や産業の特色について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2016年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 季節風（モンスーン）の影響を強く受けるため、年間を通じて降水量が多く、古くから稲作が盛んである。  
2. 大部分が乾燥帯に属して砂漠や草原が広がっており、石油などのエネルギー資源が豊富に産出される。  
3. 北極点に近い高緯度地域であるため、一年中氷に覆われた寒冷な気候を利用した水産業が中心である。  
4. 多くの島々からなる地域であり、熱帯雨林気候を活かした天然ゴムやバナナのプランテーション農業が行われている。

問3 アジアの諸地域のうち、タイ、インドネシア、ベトナムなどの国々が含まれる地域に該当するものを次の中から選びなさい。

（2021年 大分県公立入試 類似）

1. 東南アジア                      2. 南アジア                      3. 中央アジア                      4. 東アジア

問4 ある国の経済指標について、国内総生産（GDP）は世界第2位の規模（約12兆ドル）を誇りますが、一人あたり国内総生産で見ると約8000ドルという水準に留まっています。この数値が示す、この国の経済的特徴として正しいものはどれですか。

（2022年 福岡県公立入試 類似）

1. 膨大な人口を抱えているため、国全体の経済規模は非常に大きいですが、国民一人あたりの平均的な豊かさは発展途上の段階にある。  
2. 極端な少子高齢化によって生産年齢人口が急減しており、国全体の経済規模に対して労働者の生産性が著しく低下している。  
3. 経済活動のほとんどを自給的な農業が占めており、国際市場での工業製品の取引が一人あたりの所得に反映されていない。  
4. 特定の希少金属の輸出のみに依存するモノカルチャー経済であるため、国際価格の変動によって一人あたりの所得が安定していない。

問5 アジア地域で見られる、季節によって吹く方向がほぼ反対になる風を何といますか。1月には大陸から海洋へ向かって北東の風が吹き、7月には海洋から大陸へ向かって南西の風が吹くことで、地域の降水量や農業に大きな影響を与えるものを答えなさい。（2019年 奈良公立入試 類似）

1. 季節風（モンスーン）                      2. 偏西風                      3. 貿易風                      4. 海陸風

問6 タイなどの東南アジア大陸部の諸国では、オレンジ色の袈裟（けさ）をまとった僧侶が、修行の一環として人々の家を回って食料などの寄付を受ける光景が日常的に見られます。この宗教の名称として正しいものはどれですか。（2017年 鳥取公立入試 類似）

1. 仏教                      2. イスラム教                      3. ヒンドゥー教                      4. キリスト教

問7 東南アジアや南アジアで見られる季節風（モンスーン）について、夏季における風の向きと、それが地域の気候に与える影響を正しく説明したものはどれですか。（2024年 群馬公立入試 類似）

1. 海から陸に向かって吹き、湿った空気を運ぶため、多くの降水をもたらす雨季の原因となる  
2. 陸から海に向かって吹き、乾燥した空気を運ぶため、雨の少ない乾季の原因となる  
3. 北極や南極などの高緯度地域から赤道に向かって吹き、年間を通じて地域の気温を大幅に低下させる  
4. 中緯度地帯の上空を一年中西から東に向かって吹き、天気を西から東へと周期的に変化させる

問8 インドの輸出構成に関する2019年時点の説明として、その背景や特徴を正しく述べているものはどれですか。（2023年 岩手県公立入試 類似）

1. 輸出上位にダイヤモンドや医薬品などの工業製品が含まれており、産業の高度化が進んでいる。  
2. 輸出額の大部分を原油が占めており、特定の地下資源に依存するモノカルチャー経済となっている。  
3. 衣服や履物などの軽工業製品が輸出の大部分を占め、安価な労働力を武器にした輸出構造である。  
4. 輸出の9割以上がパソコンやスマートフォンなどの通信機器に限定されており、品目が偏っている。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> <b>ユーラシア大陸</b>	アフリカ大陸の東側に広がるこの大陸は、西端で本初子午線が通るヨーロッパを含み、東側には広大な面積を持つアジア州が広がっています。太平洋、インド洋、北極海という三つの大洋に面していることも、この大陸の巨大さを示す特徴です。
問2	<b>答え 2</b> <b>大部分が乾燥帯に属して砂漠や草原が広がっており、石油などのエネルギー資源が豊富に産出される。</b>	西アジアの大部分は降水量が少ない乾燥帯であり、オアシス農業や遊牧が伝統的に行われてきました。また、ペルシャ湾沿岸を中心に世界の原油埋蔵量の多くが集中しており、石油の輸出は地域経済において極めて重要な役割を果たしています。
問3	<b>答え 1</b> <b>東南アジア</b>	タイやベトナムはアジア大陸の南東部に位置し、インドネシアは数多くの島々で構成される国家です。これらの国々は、地域の経済発展や安定を目指し、ASEAN（東南アジア諸国連合）を組織して協力関係を築いています。
問4	<b>答え 1</b> <b>膨大な人口を抱えているため、国全体の経済規模は非常に大きいですが、国民一人あたりの平均的な豊かさは発展途上の段階にある。</b>	中国は、輸出構造の変化や産業の高度化によって世界第2位の国内総生産を実現しましたが、14億人を超える膨大な人口を持つため、一人あたりに換算すると先進国（日本や欧米諸国）に比べてまだ低い水準にあります。このように、経済の「総量」と「個人あたりの水準」に大きな開きがあるのが中国の経済的特徴です。
問5	<b>答え 1</b> <b>季節風（モンスーン）</b>	大陸と海洋の比熱（温まりやすさと冷めやすさ）の違いによって生じる風で、アジアの気候を特徴づける最大の要因です。1月には冷え込みやすい大陸から比較的暖かい海洋へ、7月には暖まりやすい大陸に向かって湿った海洋から風が吹き込みます。この風向きの変化が、地域に雨季と乾季をもたらします。
問6	<b>答え 1</b> <b>仏教</b>	タイやミャンマーなどの東南アジア大陸部の国々では、古くから仏教が深く信仰されています。僧侶が信者の家を回って食料などをいただく「托鉢（たくはつ）」は、首都バンコクのような近代的な都市部でも見られる特徴的な文化です。世界の宗教別人口構成比を見ると、キリスト教（約33%）、イスラム教（約23%）、ヒンドゥー教（約13%）に次いで、仏教は約7%を占めています。
問7	<b>答え 1</b> <b>海から陸に向かって吹き、湿った空気を運ぶため、多くの降水をもたらす雨季の原因となる</b>	アジアのモンスーン地帯では、夏になるとインド洋などの海から温まった大陸に向かって季節風が吹きます。この風は海上の湿った空気を大量に運び込むため、この時期は降水量の多い雨季となります。選択肢にある「西から東に向かって吹く風」は偏西風の説明であり、季節によって向きが変わる季節風とは異なります。
問8	<b>答え 1</b> <b>輸出上位にダイヤモンドや医薬品などの工業製品が含まれており、産業の高度化が進んでいる。</b>	インドの輸出は、かつての茶や綿花といった一次産品中心の構成から、ダイヤモンドの切断・研磨などの加工業や、世界的にシェアを伸ばしている医薬品産業などの第2次・第3次産業を背景とした構成に変化しています。石油製品の輸出も上位に入っていますが、これは原油を輸入して精製してから輸出する中継貿易的な側面もあり、単なる資源輸出国のサウジアラビアなどとは構造が異なります。